

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 30 年度)

施設の名称	東大阪市立郷土博物館	指定期間	30 年度～	32 年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	文化財課	連絡先	072-984-6341	
設置目的	郷土の文化的遺産を公共の利用に供し、市民の文化の向上に資するため設置するもの。			
施設内容・業務内容等	東大阪市立郷土博物館の施設は、小展示室、大展示室、ロビー、事務室、収蔵庫等がある。併設施設として、山畑古墳群がある。指定管理者には施設の維持管理と展示業務や各種体験事業等活用業務を委託している。			
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	06-6736-3660	
人員体制	正規職員	4 人	パート・アルバイト	0 人
			その他	0 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	278	279	282	282	282
指定管理委託料(千円)	32,876	33,235	28,503	25,445	25,436
利用状況指標	1 入館者数(人)	4,960	5,436	5,212	補足説明
	2 館外イベント参加者数(人)	369	464	355	補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	登録博物館としての設置目的を理解しており、郷土博物館としての役割が果たされている。避難訓練については一人で歩行が困難な方等の避難も想定した訓練を実施し、災害や緊急時の役割について徹底してほしい。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	館内はいつも清潔に保たれており、利用者だけではなく文化財についても適切に管理されている。来館者のいない時は、館内の電気をまめに消灯などコスト面でも工夫している。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	学芸員を中心として専門的な運営や企画を実施している。外国人に向けたサービスについては実施する必要がある。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	利用者アンケートは実施されており、市民の声を受け取る仕組みは整えられている。アンケート内容を分析し、管理運営計画に反映させてほしい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	市民の生涯学習活動を支援するため教育活動の実施に努力してほしい。次年度以降ボランティア受け入れ予定とのことであるが、博物館活動に市民が参加できるような企画を実践してほしい。鴻池新田会所・埋蔵文化財センターと連携した企画の実施を引き続き求める。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	関連法令、条例、規則等を理解し、博物館業務を運営している。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	設定した入館者目標数となるようイベントを実施するなど入館者増加の方策を立てる必要がある。また、多言語化に対応した解説や案内板などを設置し、外国人向けのサービスを実施してほしい。ホームページでイベント情報を見やすいものにするなど情報提供の方法を改善してほしい。